

独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization



うれしの

2016.5

第47号

【発行所】
嬉野医療センター
佐賀県嬉野市嬉野町
大字下宿丙2436番地



基本理念

「ひとり一人を大切に」

医療は患者さんの為のものであり、安心して安全な医療の実践が必要である。ひとり一人を大切にすることは、この医療の実践に重要である。この「ひとり一人」は、患者さんのみならず当院に関係する全ての人たちを指し、ひとり一人が大切にされることによって、ひとり一人が周囲を大切にすることによって、当院は人命を尊び人格を敬って医療に携わっていくものである。

運営方針

1 迅速で質の高い医療	5 適切な病院機能の更なる継続
2 安全で安心な医療	6 経営基盤の確保と新病院建設
3 地域医療構想に基づく医療	7 将来を担う医療人の育成
4 患者さんの権利を重視した医療	8 臨床研究と治験による医療への貢献

患者さんの権利

1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利	5 常に人としての尊厳を守られる権利
2 疾患の治療等に必要情報を得、また教育を受ける権利	6 医療上の苦情を申し立てる権利
3 治療法を自由に選択し、決定する権利	7 継続して一貫した医療を受ける権利
4 プライバシーが守られる権利	8 生活の質(QOL)や生活背景に配慮された医療を受ける権利



総合診療科を開設しました

嬉野医療センター 総合診療科 医長 朝長元輔

今年度より嬉野医療センターに総合診療科を開設いたしました。佐賀大学医学部 総合診療部出身の3名の医師で診療を行っています。「総合診療科」と聞いても、具体的にどのような診療をしているのか分かりにくいかもしれません。佐賀大学病院で長年診療を行っている佐賀大学総合診療部での診療経験をもとに、現時点で私たちが考えている嬉野医療センターでの総合診療科の診療内容についてご説明します。基本的には私たちは内科医です。スタッフのうち2名は、日本内科学会が認定する総合内科専門医の資格を有しています。

外来診療について

総合診療科外来は毎日開設し、二名の医師が外来を行っています。まずは発熱、咳、動悸、頭痛、腹痛といった内科的な訴えを中心に、さらに足腰の痛み、首のしこり、不安や不眠といった症状の患者さんにも対応します。どの診療科に受診すればよいか分からないときは、当科を受診してください。まずは当科で診察、検査を行います。必要があれば当院もしくは院外の専門診療科をご紹介します。検診異常の二次精査にも対応いたします。

入院診療について

嬉野医療センターに入院される患者さんの中には、専門診療科に分類できない症例、例えば原因のよく分からない発熱、意識障害、体重減少といった患者さんもいらっしゃいます。そのような患者さんたちには総合診療科が対応します。また、肺炎や胃腸炎、尿路感染症など、比較的良好に遭遇するような内科疾患に対して入院治療を行うこともあります。入院中に専門的な処置、治療が必要となった場合には、各科の医師に相談の上診療を進めていきます。あらゆる科の専門医師と即座に相談することが可能であり、とても心強いです。当院で診断、治療に苦慮する場合には、出身医局である佐賀大学総合診療部への紹介・転院も可能です。

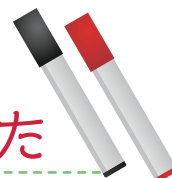
院内の医師・職員の皆さん、近隣病院の先生方、また嬉野の患者さんたちにとって、「総合診療科ができてよかった」と思われるよう尽力していく所存です。これからもよろしくお願いいたします。



新病院建設だより

シリーズ No.10

新病院建設に向けて 工事入札スケジュールが決定しました



4月より機構本部財務部整備課施設整備設計室から施設整備専門職としてまいりました垣内良二と申します。新病院の移転新築工事において工事がスムーズに進捗できるよう病院と設計事務所、施工業者との打合せ、調整等を行い、新病院の完成遅れ等が無いよう全力で取り組んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

新病院建設については、平成25年5月の嬉野市長、機構本部理事長、院長による新病院移転協定締結から3年が経過し、当初の建替計画スケジュールより遅れてはいますが、実施設計図面等も完了し、いよいよ新病院建設着工に向けて、工事入札までこぎつけました。

新病院建設工事は、新幹線嬉野温泉駅（仮称）前に建設予定ですが、まず、病院本館棟の工事を着工し、その後、時期をずらして看護学校、学生宿舎・研修施設、保育所の工事を着工する計画となっています。

病院本館棟の入札スケジュールについては、7月15日（金）に入札を行います。また、病院等の全面建替のため、建築工事、電気設備工事、機械設備工事に分けて行います。

新幹線の駅、線路等の建設も着々と進んでいるようです。新病院も早く着工できるよう関係部署との調整を行って行きたいと思っておりますので皆様のご協力をお願いします。



独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター附属看護学校

第61回生 卒業式

平成28年3月3日（木）

平成27年度 第61回生 卒業式 を挙行致しました！

第61回生がめでたく、卒業証書を手し、この日を迎えました。



看護学校では、卒業後の看護実践に向けて卒業前に、臨床の指導者さんに学校へ来ていただき、技術演習を行いました。

「寝衣交換の援助」「膀胱カテーテル挿入の援助」を2日間に分けて実施しました。実際に病棟で使用している物品を用いて実施し、先輩看護師の技術のコツや工夫点を直接アドバイスをしていただいたことで、4月から看護師として働くことのイメージをつけることができ、有意義な時間となりました。

卒業前技術演習 (2016年2月23日・24日)



先輩看護師と技術の振り返り中！！

実際に演習を実施してみて、改善が必要な点についてグループメンバーと看護師さんとディスカッションを行いました。臨床の実際の声をきいて、より具体的に患者様をイメージすることができ、みんなでよりよい援助を考えることができました。

61回生 諸富 愛美

ポジショニング実演中！！



実際に臨床で働いている看護師の方からご指導いただいたことで、対象に応じた看護技術の応用や患者さんだけでなく看護師も負担が少ない身体の使い方、患者さんの状態に応じた気配りの視点なども学ぶことができました。

61回生 高田 早苗

直接看護師さんにご指導をいただいたことで、より具体的にイメージしながら、“なぜ”そのような方法で行うのか、根拠をもって演習を行うことができました。また、教科書だけではわからない臨床での実際や、注意点・工夫点も学ぶことができました。

今回学んだことを臨床で活かせるように頑張ります。
61回生 馬場 郁佳

看護学校の3年間で医療・看護の知識を得るだけでなく、専門職業人として患者さんへ安全・安楽に看護を提供するための技術を身につけることはとても大切だと思います。患者さんの個別性を見出し、患者さんが安心できる看護の提供を、自信をもってできる看護師に成長してほしいです。4月からそれぞれの進路で3年間での学びを活かして活躍してくれることを祈っています。

61回生担任 教員 岩谷 望美



第1回 QC活動発表会開催

副師長研究会 QC活動推進グループ

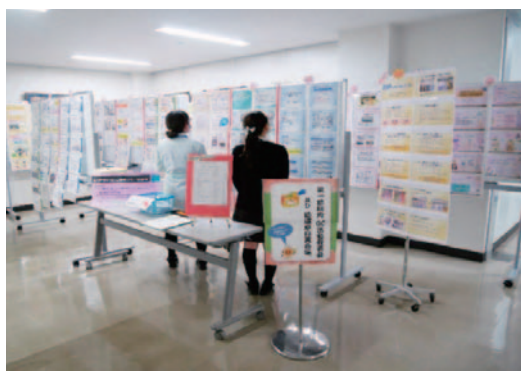


平成28年2月22日に副看護師長研究会の主催で、第1回QC活動の発表会を開催いたしました。参加数は、31チームでした。第1弾として2月15日～19日まで2階コピー室前フロアにポスターを掲示して全職員対象の総選挙を実施し（総選挙投票数409、票無効投票1票、投票率：56%）、2月22日に全ポスターの発表会で審査員特別票を加算し、優勝チームが決定されました。

当院初のQC活動発表会ということで主催した私達も「QCって何？」から始まり、院外への研修会参加や学習会を経て、また皆様のご協力もあり、何とか発表会にこぎつけたという次第でした。QC手法については当院では今まであまり周知されていなかったこともあり、もう一つといったグループもありましたが、今年とはとにかく発表会を開催することを目標に取り組んできたので、まずは盛会のうちに会を実施できたことはよかったのではないかと思います。これから回を重ねるごとに内容を充実させ、QCサイクルがうまく回るようになれば、当院の業務改善、経営改善、患者サービスの向上に役立つはずです。次年度はもっとたくさんの方に参加していただき、嬉野医療センターの一大イベントとなればと思っています。開催にあたってご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

<入賞チーム>

	部署	チーム名	テーマ
優勝	栄養管理室	もっと食べてもらい隊！！	食欲不振食導入への取り組み
準優勝	手術室	訪問行ったら知らせんしゃい	行かぬなら行かせてみよう術前訪問！！ ～術前訪問率を上げるために～
院長賞	西2病棟	あんたのことが知りたかつ隊	1分間スピーチでコミュニケーションカアップ
看護部長賞	西3病棟	DIY結束バンド隊	移動モニターの付属品の整理整頓
グッド ネーミング賞	東4病棟	とにかく明るい心カテ オリエンテーションチーム	安心してください！ 心カテ、集団説明しますよ。



総選挙ポスター掲示



QC活動発表会



平成27年度 第1回 QC活動 発表会

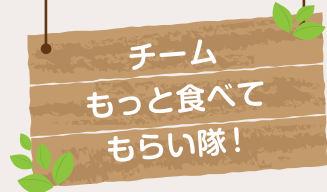


タイトル

食欲不振食導入への取り組み

メンバー

(管理栄養士) 落石紗耶香 (栄養管理室長) 佐藤恭子
 (主任栄養士) 荒谷紗樹子 (管理栄養士) 大野仁美、山下千尋
 (調理師長) 武藤章 (副調理長) 岸川繁登 (主任調理師) 伊藤栄次
 (調理師) 橋爪克彦、宮崎巧真、古川普見雄、光武淳、山口真矢



～食欲不振食導入への取り組み～
 チーム名: ★★もっと食べてもらい隊!★★

腫瘍センター 栄養管理室
 メンバー: 管理栄養士 落石紗耶香
 栄養管理室長 佐藤恭子、主任栄養士 荒谷紗樹子、管理栄養士 大野仁美、山下千尋、
 調理師長 武藤章、副調理長 岸川繁登、主任調理師 伊藤栄次、調理師 橋爪克彦、
 宮崎巧真、古川普見雄、光武淳、山口真矢

目的
 ○当院では化学療法による副作用を考慮した食糧がない。
 ○病棟より食欲不振患者の食事相談の依頼や対応も多い現状...

どのような食事が望まれているのか検討し、新しい食糧を導入することに！

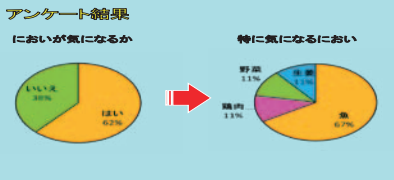
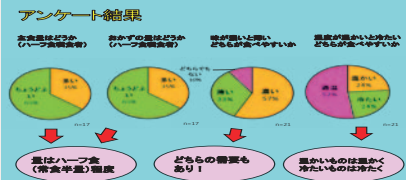
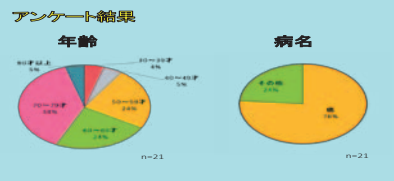
方法
 ①食欲不振食の提供を行っている他施設へ聞き取り
 ②管理栄養士の聞き取りによるアンケート調査の実施
 ③①②の結果をもとに調理師とメニューの検討・試作

アンケート
 期間: 2014年6月
 対象者: ハーフ食導入食者(17名)、個別対応食者(4名)計21名

～質問事項～
 ・食欲不振の理由
 ・主食、副食の量
 ・味、温度、においについて
 ・食べやすい料理、食べにくい料理
 ・食べて欲しい食品、調理方法
 ・食事に対応して欲しい期間

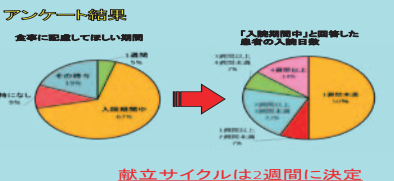
食べやすいもの、食べたいもの

項目	回答
食べやすいもの	...
食べたいもの	...



アンケート結果

食べやすいもの、食べたいもの(副食)に関するアンケート結果の棒グラフ。



3つの食糧に決定!

- ★さっぱり食(薄味、においに対応)
- ★こってり食(味ははっきり、味覚障害)
- ★デザート食(果物やゼリーのみの食事)



さっぱり食⇒フライアイスト食

2015年4月中旬より提供開始のメニュー表。

メニュー名	内容	備考
...

こってり食⇒リッチデザート食

メニュー表。

メニュー名	内容	備考
...

まとめ
 アンケートを実施したことにより、味・温度・においに対応した食事内容が望まれていることがわかった。また食欲不振患者に対して対応がしやすくなったと感じている。

今後の課題
 ・現在、希望に沿った食事が提供できているか把握するためのアンケート調査の実施中⇒結果をまとめ、献立に反映させていく。
 ・献立により栄養量の差が大きいため、改善が必要。



スタッフ英会話クラス を紹介します



嬉野医療センターで英語の先生として働きだして一年たちました。みなさんとお会いできてすごく楽しかったです。ほんとに thank you all so much!



English is an **official language** in 67 countries. Also, there are many countries where English is not an official language but is **widely used** (e.g. in Sweden English is not an official language but it is spoken by 86% of the people). Whether you want to **work**, **study**, volunteer or travel **abroad**, English is you' re doorway to the world.

Your English doesn't need to be perfect. Even basic English and a little confidence can be incredibly **useful**. **You are lucky** to be working in a hospital that **recognizes** this and gives all its employees the **opportunity** to **improve** their English **ability**. I hope to see many of you in class.

今回皆さんと知り合うことができ、大変光栄です。もし、ホールで僕を見かけたならば是非話しかけてみてください。今年度は3つのコースを準備しています。その中で一つのコースを選んでみませんか？貴方たちの英語力をどんどん伸ばしていくことをお待ちしております。It' s going to be a lot of fun!!



official language	→	公用語
widely used	→	広く使われる
work	→	仕事
study	→	勉強
abroad	→	外国
confidence	→	自信
useful	→	便利
you are lucky	→	ラッキーです
recognize	→	認めます
opportunity	→	チャンス
improve	→	レベルアップ
ability	→	能力



消防訓練を実施しました



当院での消防訓練は、年に夜間想定と昼間想定
の計2回実施しています。

今回は、1月12日に東3階病棟の洗濯室から
の昼間の出火想定で訓練を実施しました。出火の
確認から初期消火までは、素早い動きでスムーズ
に対処できましたが、それぞれの部署から現場に
駆け付けたあとの行動がスムーズにできず搬送に
手間取る等、安全な避難場所の選定場所や職員へ
の指示等、やはり訓練の重要性を実感しました。
訓練の後は、救助袋の取扱い実践を行ないました。
普段使用しないものだけにいざというときパニック
になってしまうと、せっかくの設備も無駄に
なってしまいます。消防訓練が使用方法を教えて
いただけるいい機会になりました。嬉野消防署の
方からの好評も大変参考になる助言をいただきま
したので、職員間の連携、搬送方法の習熟を図り、
迅速な行動ができるように次回の訓練に活かした
と思います。



合同送別会

当院では毎年、退職（定年退職）、異動される方に、これまでの労をねぎらい、お世話になっ
たことを感謝し、合同送別会を行っています。今年（平成28年3月24日）は86名の方
をお送りすることになりました。はじめに河部院長が登壇され挨拶のあと、定年退職の方を
思い出（笑い？）を交えながら一人ひとり紹介をされます。次に送られる方全員を紹介した
あと歓談となります。この時間になるとほとんどの方が席に座っておらず、会場は大賑わい、
時間どおりに進まなくなるほどの文字どおり「宴もたけなわ」状態になります。この風景は、
当院をよく表しており、微笑ましく心を和やかにさせてくれます。また、林田泌尿器科医長
と杉田産婦人科医長の歌手顔負けの歌声も披露され客席からの声援が絶えませんでした。

最後に、みんなでアーチを作ってお見送りし、送別会を終了しました





新病院建設予定地の現在の状況です



編集後記

嬉野医療センターに赴任してきたときに、院内の桜の木々に感動したのを今でも覚えていますが、今年も綺麗に咲いていましたが、残念ながら荒天で散ってしまいました。来年は長く楽しめることを期待しています。

(編集員一同)